

県立高校で教室の天井パネルが落下、生徒2人けが...今年7月に設置

2021/11/15 23:17



神奈川県は15日、相模原市南区の県立上鶴間高校で仮設校舎の教室の天井パネル1枚が落下し、生徒2人がけがをしたと発表した。いずれも病院に搬送され、打撲と診断された。仮設校舎は、本校舎の耐震補強工事をするため、今年7月に設置されていた。

神奈川県庁

県によると、落下したパネルは木製で縦170センチ、横89センチ、厚さ4センチ、重さ5.5キロ。当時は授業中で、パネルは約3メートルの高さから座っていた生徒の頭頂部に落下。さらに、前に座っていた別の生徒の背中に当たったという。

県によると、パネルの寸法が不足していたことが原因という。県は、仮設校舎で同様の天井パネルを使っている県立校10校について16日の始業時間を遅らせ、緊急点検するという。